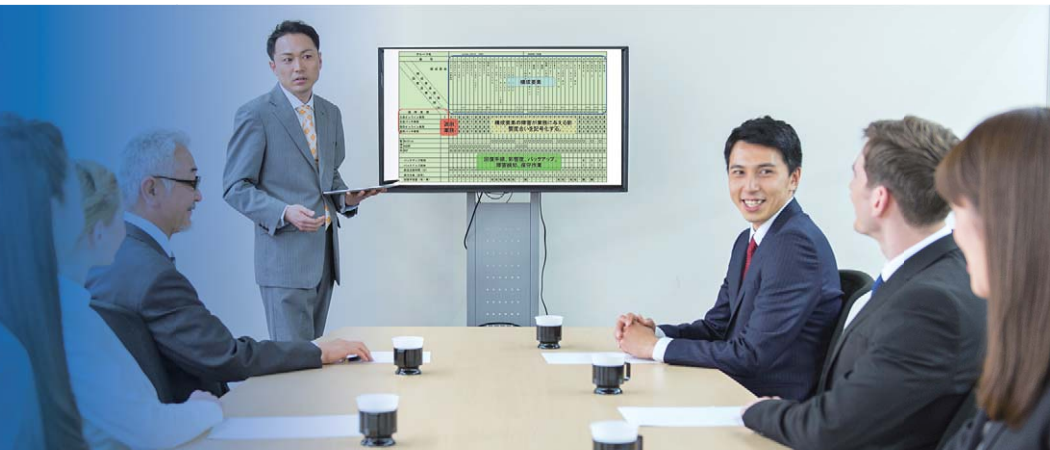


# 構成要素障害影響分析 (CFIA)

## CFIAがビジネスを救う



構成要素障害影響分析(CFIA: Component Failure Impact Analysis)はシステム構成要素の障害を想定して、格子分析と詳細分析によりお客様システムの現状を把握するための手法です。  
システムが潜在的に抱える問題点を見える化、解決策の立案と実行を通して障害が業務に与える影響の最小化を図ります。

ビジネス継続のためのコスト・バランス、システムのダウン・タイムが及ぼす影響を考え、高可用性ソリューションの検討をされませんか？

仮想化技術の進歩にあわせ基盤が統合されているため、システムの不完全さや集約されたハードウェアの障害による業務への影響が不明確になっている

基幹業務において連続稼働は必須だが、システムが全停止した場合の業務影響が正確には把握できていない、サービス停止による損失額の増大を招いてしまった

CFIAによる  
分析

二重化された筐体間を繋ぐネットワークのシングル・ポイントを導き出すなどネットワーク構成上の弱点が明らかに

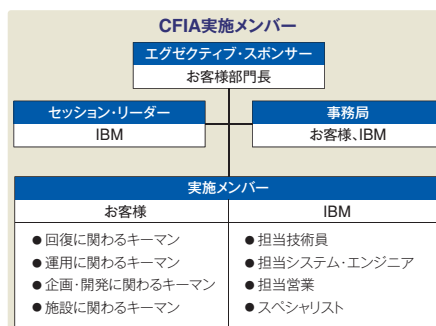
障害影響範囲の可視化により、ユーザーへの通達や回避策の提示が予め可能に

障害重複時には業務影響を踏まえた上で優先的に対応すべき事象の判別が可能に

可視化された弱点での障害発生に備えた手順書の充実、エスカレーションルートを確立しておくなど、修正対応までの暫定施策を実施可能

## CFIAの特長と実施メンバー

- お客様とIBMによるセッション形式の課題発掘型
- ハードウェアやソフトウェア、さらには導入・構築・運用に精通したIBMのスペシャリストがセッションをリード
- システムのライフサイクルに応じて、可用性向上を目指す継続的な検討と実装のモデル設計



解決策の実行

## CFIAの実施内容と効果

### 評価項目

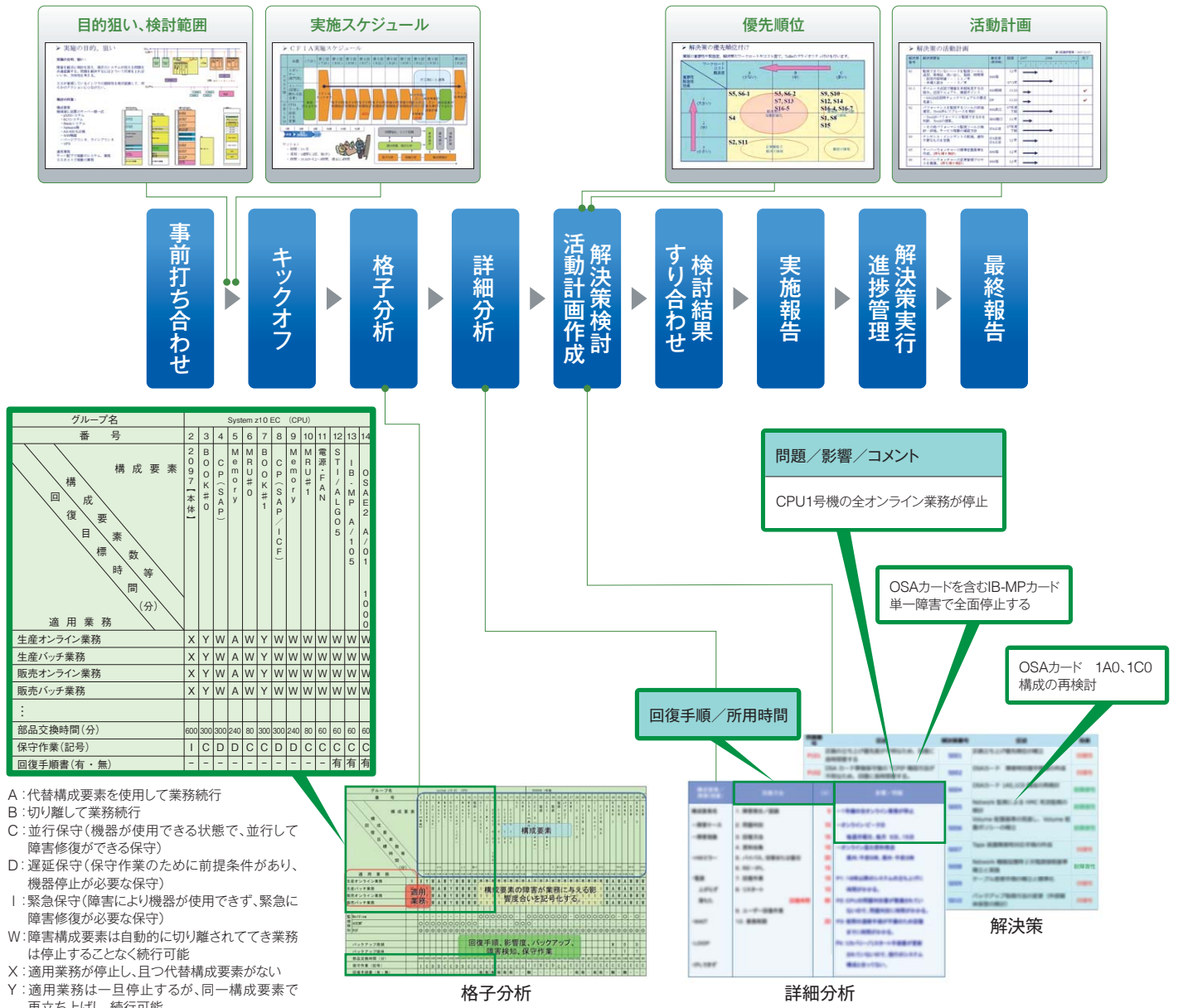
- バックアップ/回復機能
- 適用業務への影響度合
- 回復時間最小化のための改善策
- 適正な機器構成、ファイル配置
- バックアップ/リカバリー・リスタート方法
- 各種手順書
- 運用手順・体制
- 教育・訓練計画

### 実施効果

- 共通認識の熟成
  - システムの弱点・問題点
  - システム運用体制
- 障害対策の明確化
  - 構成、回復管理、データ保全
  - 障害対応訓練
- 可用性の向上
  - 業務が停止しない構成
  - 所定時間内回復の仕組み
  - 事業継続計画への取り組み
- 問題判別/障害対策の整備
  - データ・セットの配置
  - 障害対応訓練

# CFIA実施手順(例)

お客様とIBMのシステム・エンジニア、技術員によるセッション形式により、システム環境、機械の内部構造や構成・機器接続配線等の障害時における影響の把握と改善策を、分析報告書にまとめます。



**CFIA-Light**

構成要素の一つであるバックアップ/回復機能に焦点をあてた簡易版をご用意しています。最も重要な適用業務(オンライン業務等)を一つとそのシステム/サーバーを選定していただき、可用性管理・ITサービス継続性管理の一部であるバックアップ/回復機能/回復手順について現行の対応を評価し、安定稼働に結びつく改善策をご提案いたします。

\* IBM, IBMロゴ, ibm.comは世界の多くの国で登録されたIBM Corp.の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。現時点でのIBM商標リストについては [www.ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml) をご覧ください。  
\* 他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標。

構成要素障害影響分析(CFIA)についての詳細情報は下記のWebサイトをご覧ください。  
<http://www.ibm.com/services/jp/its/html/cfia1.html>

お問い合わせは、IBMビジネス・パートナー、製品販売店、弊社営業担当員、または、ダイヤルIBM(☎0120-04-1992)へ。  
受付時間: 月～金9:00～18:00(祝日、12/30～1/3を除く)  
フリーダイヤルをご利用いただけないお客様は下記の電話番号をご利用ください。  
ダイヤルIBM 03-6220-8002(この場合、通話料金はお客様のご負担となります。)



日本アイ・ビー・エム株式会社  
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21  
11-15 Printed in Japan

●このカタログの情報は2015年11月現在のものです。仕様は予告なく変更される場合があります。  
●記載のデータはIBM社内の調査に基づくものであり、全ての場合において同等の効果が得られることを意味するものではありません。効果はお客様の環境その他の要因によって異なります。●製品、サービスなどの詳細については、弊社もしくはビジネス・パートナーの営業担当員にご相談ください。